

【短報】九州本土におけるオオヒゲカタアリヅカムシの初記録

オオヒゲカタアリヅカムシ *Tmesiphorus princeps* Sharp, 1883 は Sharp (1883) によって新潟県二居から記載された好蟻性アリヅカムシ亜科の一種である。本種は主に、ヤマアリ属やオオアリ属、ケアリ属から採集される(丸山ほか, 2013)。また, Inoue *et al.*, (2019) ではサムライアリの巣から採集されたことを報告している。このように宿主範囲を広く持つことが特徴のアリヅカムシである。本種はヒゲカタアリヅカムシ *Tmesiphorus crassicornis* Sharp, 1883 とよく似るが, 全身の被毛が長いこと, 触角第9節が縦長であること, 腹部背板第5節の隆起線が短いことで区別できる。

本種は現在までに, 北海道, 本州そして対馬から分布が確認されており(柴田ほか, 2013; Inoue *et al.*, 2019), 決して珍しい種というわけではない。しかし, なぜかこれまで九州からの記録はなく, 唯一が先ほど述べた対馬からの記録であった。この度, 筆者の一人である恵が九州本土鹿児島県内においてヒゲナガアメイロケアリ *Lasius meridionalis* Bondroit,

1920 (以下, LM) の巣からオオヒゲカタアリヅカムシを採集したため, 以下の通り報告する。

1♂, 1♀, 鹿児島県鹿児島市吉野町菖蒲谷, 19. VIII. 2018, K. Megumi leg.; 1♂, 同データ, 但し 29. IV. 2019, [LM]; 1♂, 同データ, 但し 17. V. 2019, [LM]。いずれも九大博物館に保管。

これらの個体は鹿児島市内の住宅街にある小さな神社内の切り株や石の下に営巣していた LM の巣より採集された。

最後となったが, 本報告にあたり, アリの同定に快く応じてくださった久未遊氏(九州大学)に厚く御礼申し上げる。



図1. 鹿児島県産オオヒゲカタアリヅカムシ♂。

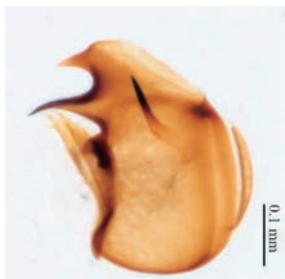


図2. オオヒゲカタアリヅカムシの雄交尾器。

引用文献

- Inoue, S., Maruyama, M. & Nomura, S., 2019. Revision of the genus *Tmesiphorus* LeConte, 1849 (Coleoptera: Staphylinidae: Pselaphinae) from Japan. *Zootaxa*, 4646 (1): 067–086.
- 丸山宗利・小松 貴・工藤誠也・島田 拓・木野村恭一, 2013. アリの巣の生きもの図鑑. 東海大学出版部, 東京, 208 pp.
- Sharp, D., 1883. Revision of the Pselaphidae of Japan. *Transactions of the Entomological Society of London*, 8, 291–332.
- 柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・島田 孝・渡辺泰明・山本周平, 2013. 日本産ハネカクシ科総目録(昆虫綱: 甲虫目). 九州大学総合研究博物館研究報告, (11): 69–218.

(井上翔太 819-0395 福岡市西区元岡 744
ウエスト 5 号館 523 号室 九州大学院昆虫学教室)
(恵 海斗 892-0871 鹿児島市吉野町 4216-1)

【短報】山口県におけるヤギマルケシゲンゴロウの初記録

ヤギマルケシゲンゴロウ *Hydrovatus yagii* Kitayama *et al.*, 1993 (図1) は, 体長 1.7 ~ 1.8 mm 程度の幅広い卵型のゲンゴロウで, 小型種で構成されるマルケシゲンゴロウ属の中でも特に微小な種である(森・北山, 2007)。

日本における記録は, 静岡県, 三重県, 奈良県, 和歌山県, 京都府, 兵庫県, 広島県, 福岡県, 鹿児島県, 沖縄県(Kitayama *et al.*, 1993; 森・北山, 2001, 2005; 石田・矢崎, 2005; 静岡県, 2007; 秋田, 2008; 的場, 2010; 北野ほか, 2011; 中島・井上, 2012; 坂本, 2012; 森, 2017) の 10 府県と少なく, それぞれの地域でも産地は局地的である。筆者はこれまで記録の無いと思われる山口県において初めて採集したので報告する。

7 exs., 山口県宇部市船木, 28. IV. 2019. 筆者採集・保管, 渡部晃平同定。

本種を確認した環境は, 丘陵地の樹林内にある溜池で, 水源は沢水と天水のみの比較的貧栄養な環境である。周囲の樹林は水面まで枝葉を伸ばす樹木はごく一部で, 全体的には明るく開放的であ



図1. ヤギマルケシゲンゴロウ。